

新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る小中学校における対応

基本的な考え方

現段階では、3月19日に公表された新型コロナウイルス感染症対策専門会議における「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」を踏まえて対応する。

小中学校においては、3つの条件(換気の悪い密閉空間、多くの人が密集、近距離での会話や発声)が同時に重ならないようにするなど、感染症対策を適切に実施することを前提に、4月6日(月)から学校を再開する。

1 学習指導・教育課程

- ・ 一斉臨時休業により未指導となった事項については、必要に応じて新学年において授業を実施する。
- ・ 授業時数を確保するため、夏季休業期間を短縮し、2学期を8月24日(月)から開始する。

2 生活指導・保健管理

- ・ 登校前に健康観察を行い、発熱等の症状がみられる児童生徒等については、自宅で休養させることを徹底する。
- ・ 手洗いやマスク着用等の咳エチケットを徹底する。マスクが準備できない児童生徒等については、学校から配布する。
- ・ 給食では、当面の間机を向かい合わせにしないなどの工夫をする。

3 学校行事

- ・ 入学式は、感染拡大防止対策のため、参加者・規模を縮小して実施する。
- ・ 修学旅行等、宿泊を伴う行事については、2学期等に延期する。

4 部活動

- ・ 感染症対策を徹底して実施する。(対策については各校HPに掲載)
- ・ 当面の間、対外試合等は行わない。

5 その他

- ・ 児童生徒及び教職員等に新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応については、県の通知に基づき対応する。
- ・ 海外から帰国する児童生徒等について、偏見や差別が生じないように指導する。
- ・ 今後も国や県の動向に注視しながら対応していく。

学校再開に向けたマスク等の対応

○マスク

- ・ 3月に児童生徒用として小中学校各校に2,000枚ずつ配布済
- ・ 4月以降の児童生徒用マスク約58,000枚（ひとり当たり20枚）を確保済

○手洗い用消毒液

- ・ 3月に小中学校に学校規模に合わせて各校200～400 配布済

○非接触型体温計

- ・ 4月に小中学校各校に1台ずつ配布予定

【3つの条件が重ならない取り組み事例】

① 換気の悪い密閉空間

- ・授業後の休み時間等に教室の換気を行う。
- ・体育の授業や部活動では、体育館の換気を適宜行う。
- ・始業式や入学式等では、事前事後に体育館の換気を行う。
- ・スクールバスでは、一定時間窓を開ける。

② 多くの人々が密集する場

- ・入学式等の学校行事では、参加者等規模を縮小して行う。
- ・始業式や生徒集会では、隣と間隔をあけるようにする。
- ・健康診断等では、間隔をあけて並ぶようにする。

③ 近距離での会話や発声

- ・授業や給食では、当面の間、机を向かい合わせにしない。
- ・スクールバスでは、マスクを着用の上、会話は控えるようにする。
- ・部活動では大きな発声を控えるようにする。

など